

平成21年度半島らしい暮らし・産業創生調査 採択企画一覧

受付番号	半島地域	市町村名	申請者区分	申請者名	プロジェクトの名称	プロジェクトの概要
1	下北地域	むつ市	NPO法人	斗南どんどこ健康村	郷土資料活用による地域活性化推進プロジェクト	同団体は、10年ほど前に郷土資料を始めとする郷土文化の保存伝承を目的に発足され、平成18年よりNPO法人として活動を行っている。本事業では、同団体が運営を行っている郷土資料館の活用策として、市内学校関係者及び学識経験者と協力して、小中学生を対象とした展示プログラムの作成や宿泊体験学習を行う。郷土資料館の利用促進と郷土愛を醸成し、地域社会に貢献できる人材を育成し、明るく活力のある地域発展を目指す。
2	幡多地域	四万十市	NPO法人	高知県西部NPO支援ネットワーク	賑わいの「市場」創出による豊かな半島暮らしの創生	同団体は、実証的に実施した「ファーマーズ・マーケットin幡多」(平成21年2月)と、「マハロ・マーケット」(同年5月)の成果により、「売り手」と「買い手」が対面で物のやり取りをする「市場」の必要性を実感し、定期的に「市場」の継続開催をするため「幡多モデル」を構築する。幡多地域固有の文化や味覚が味わえる“空間”を定期的に出現させ、地域に賑わいとコミュニティの活性化を促し、他地域からの人々の流入を目指す。またこのことにより地域に住む者自身が半島地域の「豊かな価値」に誇りと自信を持つという好循環を生み出す。
5	大隅地域	鹿児島市	NPO法人	桜島ミュージアム	TSUBAKIプロジェクト2009	同団体は、平成20年度事業において「桜島の椿油」の商品化と試験的販売を行い、価値の見直し、継続的な販売に向けた仕組み作りを行っている。しかし、椿油の製造過程で大量に出る搾りカスは、昔は洗剤などとして有効活用されていたが、現在はその存在やその利用価値がほとんど知られていない。そのため今年度の取組では、その搾りカスに付加価値を付け商品化するため、利用方法の調査や広報、試験的販売を行う。椿の需要拡大による、地域住民への経済効果や放棄地の有効活用などで桜島全体が元気になることを目指す。
7	室津大島地域	山口市(周防大島町)	NPO法人	学生耕作隊	島じゅう知恵袋ミュージアム	同団体は、人手不足の農家へ手伝いに行く援農活動を8年前から行っている。そのフィールドの一つである、周防大島町は高齢化全国一とも言われているが、ここにはお年寄りの知恵や海、山、畑、歴史など豊かな地域資源がすぐ手の届くところにあふれている。本事業では、それらを活用して地域全体をミュージアムと見立てた地域の活性を目指す。具体的には、都市部の住民を対象にした島の体験ツアーを実施し、「島じゅう知恵袋ミュージアム」のパンフレット作成、地域内の拠点づくりを行う。
9	国東地域	日出町	任意団体	日出町ウォーキング同好会	ウォーキング文化の確立 一住みやすい活気ある町にー	日出町は別府湾を眼前に、気候、山海両用の眺望等の面から、とてもウォーキングに適した町で、現在も「美しい日本、歩きたくなる道500選」に認定されているウォーキングルートをベースにした月定例ウォーキングや平成18年から「ザビエルの道ウォーキング大会」が実施されている。本事業では、各コースの特徴と意義を明確にした25ルートを確立するための歴史的資源の再調査・研究やルートマップ・案内板等の検討、モニターツアーの実施などにより「魅力的なウォーキングでの町づくり」を目指す。

10	津軽 地域	五所川原 市	任意 団体	コミュニテイ カフェでる・ そーれ	地域一体でつく る農産物加工 で新たな産業 創出プロジェク ト	同団体は、五所川原駅前津軽鉄道1階にある、地域住民、観光客が交流できる「あづまり場サン・じゃらっと」内に、生産者と消費者と提供者のつながる絆の拠点として平成21年4月「コミュニティカフェでる・そーれ」を開店させた。本事業では、青森県産地鶏としてブランド化を目指している「青森シャモロック」と、夏になると大量に出回り余りものとなるトマトの活用策として、トマトソースを開発し、新しい地域資源を活用したメニューの開発を行う。新メニューは、瓶詰めへの加工・実験販売、アンケート調査を重ね、採算性、持続性がある地域の人と人との結びつきで生まれる新たな特産品の創出を目指す。
14	丹後 地域	京丹後市	NPO 法人	音楽のまち づくり	地域資源の活用による丹後の楽器製造産業の復活と文化の育成	丹後ではかつて楽器製作が盛んで、音楽文化が根付いていたが、楽器職人の不在などにより、これらの活動も下火になってしまったことから、同団体は、本物の音楽の普及と育成を目指して、バイオリンの演奏会等を実施している。本事業では、楽器製作の技術伝承・人材育成に焦点を当て、丹後の森の間伐材を活用して、丹後出身の職人が丹後産の楽器を製作して地域の音楽文化を普及させる。